

(別添)

## 医薬部外品原料規格2006 正誤表

頁	行	試験法名・成分名等	項目	誤	正
190	↓ 16	80. 容量分析用標準液 0.1mol/L ナトリウムメキシド液	調製	…溶かした後、 <u>シクロヘキサン</u> を加えて 1000mL とし、次の標定を行う。	…溶かした後、 <u>メタノール</u> を加えて 1000mL とし、次の標定を行う。
200	↑ 19	82. 計量器・用器	温度計	機質は、1号、2号及び <u>6号</u> では	機質は、1号、2号及び <u>3号</u> では
363	↑ 1	アクリル酸ヒドロキシエチル・アクリル酸ブチル・アクリル酸メキシエチル共重合体液	強熱残分	(項目の追加)	0.1%以下(蒸発残留物 2.5g, 第1法) ただし、蒸発残留物とは、試料を 80°C で、2時間乾燥したものである。
403	↑ 9	アラキルアルコール	確認試験	バナジン酸アンモニウム試液3滴	バナジン酸アンモニウム試液 <u>0.5mL</u> 及び <u>8-キノリノール</u> 試液3滴
488	↑ 16	エタノール	純度試験(2)酸又はアルカリ	これに <u>亜水酸化ナトリウム試液</u> 0.1mL を加えるとき、	これに <u>0.1mol/L</u> 水酸化ナトリウム液0.1mLを加えるとき、
489	↓ 15	エタノール(96~96.5度)	純度試験(2)酸又はアルカリ	これに <u>亜水酸化ナトリウム試液</u> 0.1mL を加えるとき、	これに <u>0.1mol/L</u> 水酸化ナトリウム液0.1mLを加えるとき、
778	↑ 15	高重合ポリエチレングリコール	純度試験(1)酸	本品 <u>5.0g</u> に	本品 <u>0.1g</u> に
843	↑ 7	酢酸リナリル変性アルコール	純度試験(4)メタノール	メタノール試験法により	メタノール試験法の <u>第1法</u> により
948	↓ 8	重質炭酸マグネシウム	沈降試験	12mL の目盛り以上である	12mL の目盛り以下である
1139	↓ 13	トリスステアリン酸トリメチロールプロパン	強熱減量	<u>強熱減量</u>	<u>強熱残分</u>
1163	↓ 17	トルエン	純度試験(3)硫酸呈色物	色の比較液より濃くない。	色の比較液 <u>1</u> より濃くない。
1257	↓ 18	ヒドロキシエタンジホスホン酸液	純度試験(2)亜リン酸	本品の表示に従い、	本品の表示量に従い、

頁	行	試験法名・成分名等	項目	誤	正
1258	↑ 19	ヒドロキシエタンジホスホン酸四ナトリウム液	純度試験(2)亜リン酸	本品の表示に従い、	本品の表示量に従い、
1301	↓ 9	フィトステロール	基原、成分の含量規定 又は表示規定	ステグマステロール(C <sub>22</sub> H <sub>46</sub> O : 412.70)	ステグマステロール(C <sub>22</sub> H <sub>46</sub> O : 412.70)
1373	↓ 17	ポリアクリル酸ナトリウム	純度試験(1)溶状	比較液 : 0.005mol/L 硫酸 5.5mL	比較液 : 0.005mol/L 硫酸 5.5mL に希塩酸 1mL、エタノール 5mL 及び水を加えて 50mL とし、これに塩化バリウム試液 2mL を加えてよく振り混ぜ、10分間放置する。この液は用時振り混ぜて用いる。
1422	↓ 14	ポリオキシエチレンオレイルエーテル	純度試験(1)重金属	この液を試料溶液として第2法により試験を行うとき、	この液を試料溶液として第4法により試験を行うとき、
1536	↓ 9	ポリオキシプロピレンブチルエーテルリン酸	純度試験(2)ヒ素	本品 1.0g をとり、第3法により試料溶液を調製し、試験を行うとき、その限度は、2ppm 以下である。	本品 0.40g をとり、第3法により試料溶液を調製し、試験を行うとき、その限度は、5ppm 以下である。
1590	↑ 11	無水エタノール	純度試験(2)酸又はアルカリ	これに希水酸化ナトリウム試液 0.1mL を加えるとき、	これに 0.1mol/L 水酸化ナトリウム液 0.1mL を加えるとき、
1609	↑ 7	メチルクロロイソチアゾリノン・メチルイソチアゾリノン液	定量法	$A = \frac{M_2}{M_1} \times \frac{Q_{MCl}}{S_{MCl}} \times C_{MCl}$ $B = \frac{M_2}{M_1} \times \frac{Q_{MIT}}{S_{MIT}} \times C_{MIT}$	$A = \frac{M_2}{M_1} \times \frac{S_{MCl}}{Q_{MCl}} \times C_{MCl}$ $B = \frac{M_2}{M_1} \times \frac{S_{MIT}}{Q_{MIT}} \times C_{MIT}$
1689	↑ 6	ヤシ油脂肪酸ソルビタン	確認試験(2)	希水酸化カリウム・エタノール試液 25mL を加える。	希水酸化カリウム・エタノール試液 50mL を加える。
1722	↑ 1	ラウリルアミノプロピオン酸液	蒸発残分	44.0~56.0%	36.0~44.0%
1800	↓ 7	硫酸カルシウム	強熱残分	強熱残分	強熱減量

頁	行	試験法名・成分名等	項目	誤	正
(H21.6.30改正) 8 9	↑ 1 ↓ 15	57. 旋光度測定法	一 操作法	旋光度は、 $[\alpha]_x^t$ で表し、次の式で計算される。 旋光度が $+52.2^{\circ} \sim +52.5^{\circ}$ であることを示す。	比旋光度は、 $[\alpha]_x^t$ で表し、次の式で計算される。 比旋光度が $+52.2^{\circ} \sim +52.5^{\circ}$ であることを示す。
(H21.6.30改正) 12	↓ 3	L-システイン	別名	(追加)	L-システイン(2)
(H21.6.30改正) 54	↓ 23	セスキ炭酸ナトリウム	定量法	5mol/L硫酸で滴定した後	0.5mol/L硫酸で滴定した後